

事務事業評価票

様式第2号

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	15114				
事務事業名	創業支援事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	5	項	1	目	1
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化								
施策項目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化								
前期計画掲載頁	49	頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的
 ハローワーク、大町職業安定協会等と連携した求人開拓をはじめ、就職希望者への地元就職機会の提供、事業主に対しての人材確保、地域内での雇用促進、定住に向けた対策を施し、地域経済の活性化と雇用環境改善を図る。また、中小企業の経営基盤の強化を支援し商工業の振興を図るとともに、全庁的な推進体制による新規創業者への支援・育成を図る。

事業内容
 アドバイザーによる創業支援
 企業説明会（就職面接会）の開催
 関係機関（大町職業安定協会・大北高等職業訓練校等）への支援
 創業支援協議会によるセミナー・創業塾の開催、相談窓口・コワーキングスペースの開設

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	4,329,676 円	6,679,695 円	13,256,650 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
		一般財源	4,329,676 円	6,679,695 円	13,256,650 円

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	創業セミナー	回	2	3	3	2	150.0%	2
	②	創業塾	回	1	1	1	1	100.0%	1
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	有効求人倍率推移（年平均）	%	1.02	1.28	1.76	1.00	176.0%	1.00
	②	創業セミナー参加者	人	40	51	63	50	126.0%	50
	③	創業塾参加者	人	43	68	84	50	168.0%	50
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	改善の余地あり			
	点数	3	3	3	3	2	2	継続	16	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
 企業説明会は、実施主体となるハローワーク、大町職業安定協会、大北地域5市町村との連携を強化し、地域での雇用による人材不足の解消、定住促進による人口対策等に向け、今後も継続実施していく必要はあるが、近年の参加者数の減少を踏まえ、開催時期や内容の見直しを検討する必要がある。
 各種団体への支援は、労働者の生活の安定や、地域経済の活性化を図る上においても重要であり、継続的な取り組みが必要である。
 創業者等への支援は、創業支援協議会によるセミナー・塾等を継続的に開催し、創業につなげていく。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）
 創業者等への支援は、コワーキング施設を開設し、若者や女性、Uターン者等様々な方の交流拠点として位置付け、創業への機運を醸成するとともに、新たな働き方の提案等を通じて定住の促進につなげていく。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	17114				
事務事業名	中小企業支援事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	7	項	1	目	1
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化								
施策項目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化								
前期計画登載頁	49		頁	個別計画				頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的
 商工会議所において、市内事業者への経営指導を行い、健全な経済環境整備を目指す。また、経営に係る資金融資を円滑に進めるため、原資を金融機関に預託し、低利な制度資金融資を運用することにより市内事業者への支援を図る。
 中小企業振興条例に基づく事業実施に関しては、必要に応じて審議会を開催し、高度化・共同化等近代事業の促進とともに、必要な助成措置を講じ、中小企業の振興を図る。

事業内容
 中小企業振興条例の円滑な運用を図るための審議会の開催
 県・市制度資金融資の斡旋及び融資相談等
 商工会議所による中小企業の事業活動の相談業務等への支援
 地域経済の活性化や定住促進に向けた地域商品券発行事業への支援

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	424,879,960 円	423,917,309 円	422,813,026 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	400,000,000 円	400,000,000 円	400,000,000 円
	一般財源	24,879,960 円	23,917,309 円	22,813,026 円	

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	融資申込件数	件	51	54	38	80	47.5%	50
	②	融資申込額	千円	238,840	268,560	245,330	580,000	42.3%	300,000
	③	保証料補給金	千円	8,649	8,480	7,849	10,000	78.5%	8,000

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①							
	②							
	③							
	2. 数値で表せない効果	(指標) 大町商工会議所による市内事業所の経営相談、商店街との連携等、関係機関との連携・調整により、市内経済の活性化が図られている。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	3	2	3	3	3		18	

【具体的な課題と改善】

<p>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</p> <p>制度資金融資について、件数、融資額ともに減少傾向である。景気動向とともに、市内事業所の経営状態等、現状を把握する必要がある。</p>
<p>改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）</p> <p>金融機関（金融団）と中小企業を取り巻く金融制度全般の意見交換を実施し、制度資金の円滑な運用に向けた検討を行う。</p>

事務事業評価票

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興担当係	事務事業No.	17115					
事務事業名	ブランド振興事業			会計	一般会計					
まちづくりのテーマ	第2_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	7	項	1	目	1	
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化									
施策項目	信濃大町ブランドの戦略的展開									
前期計画掲載頁	59~62	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略					全	頁
事業期間	平成	28	年	~	平成	32	年	根拠法令・要綱等		

事業の目的	◎信濃大町ブランド戦略に基づくブランド力の向上 市民等へ向けたブランド戦略の浸透とシビックプライドの醸成 ◎信濃大町水ブランド戦略の推進 「水が生まれる信濃大町」の発信 飲料水製造品の販路を活用した湧水地「信濃大町」の魅力発信 ◎地域資源、特産品のブランド化 特産品開発、販路開拓、プロモーション活動
-------	--

事業内容	(1) 信濃大町ブランド戦略の推進 ①信濃大町ブランド戦略推進委員会・研究会の開催 ②カクネ里水河シンポジウム&ディスカッション開催 ③信濃大町ブランド啓発宣伝事業 ④信濃大町サポーター事業 (2) アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営 信濃大町の食を通じた魅力発信 (3) 特産品販路拡大事業 積極的な物産展等への参加、いーずら大町特産館ばかりでなく、意欲ある事業者を巻き込んでの参加 (4) おおまびょん活用事業 おおまびょん着ぐるみ(エアタイプ)制作による機能、機動力アップ (5) 黒部ダムカレーの推進 ①新パンフレット制作 ②インスタグラムキャンペーン実施 (6) 農産物等販路開拓支援事業(シンガポール・台湾プロモーション事業) 農林水産課との連携事業、商工労政課の主事業は地方創生推進ブランド推進振興事業「信濃大町ブランドプロモーション事業」となるため別途記載。
------	---

事業費	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	総事業費(決算額)	17,929,817 円	13,204,599 円	16,189,272 円	
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	965,325 円	670,024 円	477,074 円
一般財源		16,964,492 円	12,534,575 円	15,712,198 円	

活動指標			平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度(H30)	達成率	次年度(R元)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	物産展出展	回	27	33	44	35	125.7%	45
	②	キャラクター出演	回	172	126	126	180	70.0%	180

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度(H30)	達成率	次年度(R元)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	認知度県内順位(19市中)	位	12	13	16	10		10
	②	魅力度県内順位(19市中)	位	9	9	11	8		8
	③								
2. 数値で表せない効果(指標)									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	継続				14 / 18
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通					
点数	3	3	2	2	2	2					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

- ◎アンテナショップの運営については、信濃大町の食を通じた魅力発信に重点を置いている。売上げ的には目標を上回る結果となったが、惣菜類の売上が約4割強を占めており、特産品販路拡大という観点からは直接的なPRに欠けていると思われる。
- ◎いーずら大町特産館と委託契約を締結して物産展への出展を実施している。特産館の人手不足をあり、フットワークの弱体化が否めない。
- ◎おおまびよんは大町市をPRすることを主たる目的として活動している。着ぐるみも4体となり機動力の向上も図られたことにより、さらに露出を高め、人気の高まりを、当市のイメージアップや経済活動に役立てたい。
- ◎黒部ダムカレーの推進
推進協議会加盟店の中でも温度差があり、イベント等への参加も特定店舗に偏りがちである。特に30年度ではタイアップできる全市的なイベントもなく、事業展開が難しい年であった。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

- ◎信濃大町えんポーター事業の創設
市の特産品の販路拡大と信濃大町ブランドの認知度向上のため、意欲ある生産者や製造業者等への市場調査や販路開拓の場の提供を行う事業 ※えんポーター(縁・円を結び運ぶ人)
市に依頼されたイベントへの出展やアンテナショップでの特産品PRを行い、アンテナショップ運営事業やいーずら大町特産館物産展出展事業の弱みを補強するするとともに、事業者自身の体力増進、製品のブラッシュアップにも効果があると思われる。
- ◎おおまびよん
・信州花フェスタフレンズとしての活動
・ゆるキャラグランプリ三年ぶり出場により、おおまびよんの活躍で市内外を問わず広く市の認知度向上を図る。
- ◎黒部ダムカレー推進協議会10周年アニバーサリー事業
10周年を契機に新たな「黒部ダムカレー」を提案していきたい。
信州花フェスタ期間中のタイアップイベント（黒部ダムカレー花フェスタversionの提供）
カレーの日「黒部ダムカレーバイキング」（仮称）開催

事務事業評価票

様式第2号

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	17116				
事務事業名	中心市街地多目的ホール管理事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	7	項	1	目	1
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化								
施策項目	中心市街地の活性化								
前期計画掲載頁	49・50	頁	個別計画					頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	市民の福祉向上と中心市街地の振興を図るため、中心市街地多目的ホールの管理業務を委託し、市民等が利用しやすく効率的な施設運営を目指す。								
事業内容	中心市街地多目的ホール指定管理委託 施設の利用受付許可事務、利用料の収受、事務及び公衆トイレ維持管理業務								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		2,766,000 円	2,936,900 円	2,777,600 円				
	財源内訳	国庫支出金		円	円	円			
		県支出金		円	円	円			
		起債		円	円	円			
		その他財源		円	円	円			
一般財源		2,766,000 円	2,936,900 円	2,777,600 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	①	施設利用数	件	226	210	161	260	61.9%	200
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①								
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標）									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である			
点数	2	2	2	3	2	3		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
施設利用件数が減少傾向のため、利用促進に向けた啓発活動等の検討が必要である。	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
商店街イベント、自治会活動等において普及啓発活動を実施し、利用率の増加を図り、市街地の活性化につなげていく。	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	17117				
事務事業名	中心市街地活性化事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	7	項	1	目	1
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化								
施策項目	中心市街地の活性化								
前期計画登載頁	50		頁	個別計画				頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的
 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた施策事業を推進するとともに、大町まちづくり協議会や商店街連合会等関係団体との連携を図り、中心市街地の賑わいを創出する。

事業内容
 中心市街地活性化委員会による基本計画（第3次）の評価・検証
 大町まちづくり協議会との連携による施策・事業の実施（駅前拠点施設の運営、荷ぐるま市等）
 空き店舗活用事業による空き店舗解消、商店街が独自に取り組む消費者交流事業等への支援
 新規条例の制定

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	28,323,988 円	14,004,896 円	15,798,665 円
		国庫支出金	5,900,000 円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
	一般財源	22,423,988 円	14,004,896 円	15,798,665 円	

活動指標			平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	のれん設置数	個	15	4	0	5	0.0%	2
	②								
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	ゆかたまつり・やまびこまつり参加者数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
	②	信濃大町まつり参加者数	人	10,000	3,000	-	-		-
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

- 基本計画に基づく具体的な施策・事業の実施にあたっては、大町まちづくり協議会等が実施主体となっているが、実行の際は事務局（商工会議所、市）による運営体制となっており、関係者の主体性、協働性は向上されていない。
- 空き店舗活用を図る上において、店舗情報等が一元化がされていない等、情報発信機能が確立されていない。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

- 実施主体となる団体等と協議し、各種事業実行時の運営体制を整備していく。
- 空き店舗活用事業の推進に向けて、商工会議所、商店街、不動産事業者等関係機関との連携、情報一元化の体制整備に向けた検討を行う。

事務事業評価票

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興担当係	事務事業No.	171113		
事務事業名	地方創生推進ブランド振興事業			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第2_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	7	項	1目1
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化						
施策項目	信濃大町ブランドの戦略的展開						
前期計画掲載頁	59~62	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略	全	頁	
事業期間	平成28年	~	平成32年	根拠法令・要綱等			

事業の目的

◎地方創生推進交付金「大町らしさを活かした新しい人の流れ創出事業」
 本事業は、大町市において重要な資源である水を活用したブランドイメージの構築と観光振興策を主軸としながら、「①地域の魅力向上」、「②観光振興・情報発信」、「③市街地への誘導」「④働く場の確保」「⑤消費の拡大」により、地域に人とお金を呼び込むことで地域経済を活性化させ、将来的に移住・定住人口の増加を目指すものである。
 地方創生推進ブランド振興事業は、「①地域の魅力向上」、「②観光振興・情報発信」に特化し、特産品開発支援、信濃大町水ブランド向上、観光振興インバウンドに取り組むことによって、市場において情報発信力や競争力の面で比較優位性を持ち、地域住民に自信と誇りを持たせるだけでなく、観光客や消費者等に共感・愛着・満足度をもたらすものであり、「大町の商品を買いたい、食べたい、大町に来たい」という気持ちを誘引することを目的とする。

事業内容

(1) 信濃大町水ブランド向上事業
 市が実施主体となり、水ブランド戦略に基づき、市の豊かで清らかな水のイメージを外に向けて発信する。
 ①講演会 「スキーとビールと信濃大町への想い ～地域の潜在能力を生かしたビジネスと地域貢献～」開催
 ②水ブランド海外戦略
 信濃大町湧水のモンドセレクション2018最高金賞、ITQI（国際味覚審査機構）優秀味覚賞受賞という国際評価を契機に、飲料水ペットボトルの発売開始
 ③市内飲料水製造事業者「大町市推奨ブランド」ロゴマークを使用した情報発信への協力依頼
 (株)トーエルの協力により、海外用ブランドである「信濃湧水」の箱に、ブランドロゴマークと推奨ロゴマークを印刷して台湾へ初出荷
 (2) 特産品販路開拓事業
 ①特産品開発・リデザイン事業
 「水河のまちの恋するリンゴ」をテーマに、市内事業者を中心に特産品開発セミナー、ワークショップで新たな特産品を開発、アメ市（2019/2/11）にテストマーケティング実施
 ②食材プロモーション事業
 食の情報誌「料理王国」とタイアップした、信濃大町の食材を活用した誌面掲載企画
 (3) 観光振興・インバウンド推進事業
 ①信濃大町ブランドプロモーション事業
 信濃大町ブランド戦略に基づき、当市の地域ブランドである「水」を海外に情報発信を行うことを目的に、海外向けのパンフレットの製作やイベント等の企画等を行う業務
 ②信濃大町ブランド公式ホームページ制作業務
 信濃大町ブランドの認知向上のため、ブランドコミュニケーション戦略の一環として、魅力あふれる信濃大町ブランドの情報を、国内ばかりでなく海外にも広く発信する。

事業費	年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		総事業費（決算額）	4,307,241 円	3,501,496 円	10,768,422 円		
財源内訳	国庫支出金	837,199 円	462,072 円	5,129,737 円			
	県支出金	円	円	円			
	起債	円	円	円			
	その他財源	円	円	円			
	一般財源	3,470,042 円	3,039,424 円	5,638,685 円			

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	特産品となる新たな商品取扱企業	回	2	6	11	10	110.0%	15
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	長野県内の認知度順位19市中	位		12	13	16	10		10
				9	9	11	8		8
②	長野県内の魅力度順位19市中	位							
③									
	2. 数値で表せない効果 (指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
評価		高い	高い	普通	一部重複	普通	適正である	事業完了終了	15 / 18	
点数		3	3	2	2	2	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

（1）信濃大町水ブランド向上事業

飲料水メーカーとの連携

- ・（株）トーエルとは「信濃湧水」海外販路における、湧水地「信濃大町」のプロモーション事業
- ・サントリープロダクツの新工場建設が信濃大町のブランディングに与える効果を期待

（2）特産品販路開拓事業

①特産品開発・デザイン事業

過去2回実施したコンテストを踏まえ、コンテスト形式ではなく、事業者を主人公としてとらえながら、セミナー・ワークショップ形式で新商品開発支援を行い、実践的なマーケティング活動まで発展させることができたと思われる。

②食材プロモーション事業

料理王国企画、レストランキャンペーン実施後、各レストランからの継続的なオーダーに対応している。

（3）観光振興・インバウンド推進事業

①信濃大町ブランドプロモーション事業

信濃大町ブランド戦略に基づき、当市の地域ブランドである「水」を海外に情報発信を行うことを目的に、海外向けのパンフレットの製作やイベント等の企画等を行う業務（＝ブランド振興事業「農産物等販路開拓支援事業」）

②信濃大町ブランド公式ホームページ開設

「しなののおおまち水と人」公開、多言語化のより国内外への信濃大町ブランドの情報発信強化

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

地方創生推進交付金の助成期間が終了し、事務事業名、予算科目については、ブランド振興事業費に統合となる。

◎海外販路開拓支援事業

農産物及び加工品の海外販路開拓支援としての、海外プロモーション、海外バイヤーの招へいを実施予定

◎信濃大町水の恵みに感謝を！！プロジェクトキャッチコピー「この清冽な湧水を100年先の未来へ」啓発活動

市が実施する水に関わる事業（水源感謝祭や水にまつわるイベント等）を開催する際に、この事業目的を明確に掲げ、継続的に実施することで、大町の水が宝であるとの共通認識に繋げ、地域への誇りや愛着を一層深める事業を展開する。

◎信濃大町食材プロモーション事業

料理王国食材商談会出展：食材の掘り起し、安定的な販売ルートを構築する。

◎水ブランド向上事業

信濃大町湧水PR事業：販路拡大PR事業

湧水地信濃大町のブランドイメージの定着から、商品のイメージアップの相乗効果を図る。